

高良興生院・森田療法関連資料保存会

ニュースレター あるがまま

NO.8 2015年4月

高良先生が愛される理由（わけ）

元高良興生院院長 阿部 亨

高良先生が亡くなって20年、森田療法における多くの業績については誰しも知るところである。しかし先生の人的魅力について知る人は年毎に減少しているのが実情である。

このため私はこの欄を借りて、再度、私の見聞した先生の愛すべき魅力について書き留めておきたい。

もちろん、先生が権威的強圧的でなく、門下生の自由を尊重するお人柄が根底にあったのは言うまでもない。

第一にあげたいのは、真摯にとりくむ先生のひたむきさが、時には純な親愛感を生んだことである。これは入院者とのスポーツやゲームへのとりくみにも感じられたが、次のような思い出もある。

昭和29年頃だったか、精神科医局の一泊旅行が熱海の森田旅館宿泊で行われた。宴会のあと、有名であった遊郭（当時はまだ存在した）を見学しようという話になり、先生を含めた十数名で出かけた。女性たちの客引きの嬌声のなかをゾロゾロと歩いていると、明らかにひやかすとわかる我々集団に対して、からかう気になったのであろう。体格のいい女性数名が出てきて、一番の年長者である先生の腕をつかんで店のなかに引きずり込もうとした。先生は一生懸命抵抗したが、抗しきれない情勢になった時、悲痛な悲鳴をあげられた。

「みんな、助けてくださいあい」

さあ、我々一同は欣喜雀躍、力を合わせて先生を奪い返したのである。

その後しばらくは医局でこの件が話題になったが、それを話す医局員の顔には、先生への敬意と親愛感が溢れていたのである。

次にあげるのは、先生の座談の魅力である。

日常の場面でもしばしばウィットに富んだ発言はあったが、座談になると広範囲の話題のなかに、ウィット、ジョークを連発される。加うるに絶妙な間と、そして多くの場合何らかの落ちの言葉で終わる。その点は落語家の話術に匹敵するものがあった。

紹介するのは、我々門下生との興生院での昼食時の座談である。

「昔、街で患者に襲われたことがあった。左側頭部を少し切られたが、渾身の力をこめて相手の腕を押さえて防いだ。あとでふた針ほど縫ったが、翌日両肩から腕にかけて痛くてしょうがないのでレントゲンを撮ったところ、右の肋骨の境がはずれていると言われた。（一同傾聴）しかしこれは生まれつきと言われたがね。（一同、なあんだの笑）あとで森田先生に話したところ、君そんな時は股間（先生は具体的な俗称を言われた）を蹴りあげるといいんだよと言われた。（間）しかし相手が女性の場合は困るだろうな。（先生さらっと話す）（一同爆笑）」

以上、二つのエピソードしか書けなかったが、先生が尊敬されるとともに愛された理由の一端を理解していただけたらうか。

森田正馬賞受賞のセミノヴァさんの企画

ルーテル学院大学名誉教授／森田療法保存会会長 **増野 肇**

一昨年のもスクワでの国際森田療法学会の大会長ナターリア・セミノヴァさんが2014年度の森田正馬賞を受賞され、日本森田療法学会で特別講演をされました。

この機会に、保存会においても何か企画をしようということになり、2014年11月12日に講演会を開催し、もう少しわかりやすく実際の活動を話していただきました。

そのあと、サイコドラマ形式でのモスクワの紹介の時間を作りました。夜には、増野ゼミの人たちがソシオドラマで、森田療法に関心を持たれた経緯のエピソードを上演することにしました。

彼女のモスクワの活動は、統合失調症などの精神障害の方も含めた幅広いもので、森田療法の基本的な考えをもとにした広い地域活動であり、私が今、クッキングハウスなどで行っていることと同じだという感じがしました。

そのあとのサイコドラマでは、参加者のロシアへの思いが演じられましたが、彼女が冬のモスクワ川で氷を割って泳ぐという体験を皆で演じたのが印象的でした。シベリヤ鉄道やポリショイパレー、ソチオリンピックなどを楽しみました。

私が知りたいと思ったのは、なぜ彼女が森田療法に関心を持ったかということで、プレイバックシアターの桜井さんの協力で演じてもらいました。

そもそも、モレノ生誕百周年の1989年の国際集団精神療法学会がアムステルダムで開かれた時に、私が発表した”Moreno and Morita”という発表のタイトルが彼女の目に留まり、その意味を求めた手紙が私のもとに届きました。丁度、第1回の国際森田療法学会が浜松で開催されるときでもあり、ソヴィエト連邦でペレストロイカが始まったばかりというタイミングの中で実現したのでした。

しかし、来日にはいろいろな苦勞があり、多くの人たちとの出会いの中で実現した経過が

面白く演じられました。改めて、何か大きな力が彼女を森田療法に導いてきた感じがします。私個人としては、いろいろ考えてつけた論文のタイトル”Moreno and Morita”がそもそものきっかけになったことに大満足でした。

三島森田病院訪問記

高良興生院・森田療法関連資料保存会 内野 達矢

2014年度の総会は5月25日(日)に静岡県三島市で開催されました。今回は総会后に三島森田病院を訪問しました。同病院は昭和34年に精神科の病院として開設され、当初から現在まで入院森田療法を施行しています。平成15年に現在地に移転し、開放病棟の一部を森田療法で利用しています。同病院は市北部の緑豊かな高台に位置しております。当日は十数名で訪問し、医師の内山彰先生にご案内いただきました。

まず内山先生から、「三島病院今昔」と題してのご講演がありました。初代院長の森田秀俊先生は森田正馬先生の養子であり、森田先生の晩年に看護師として付き添い、森田療法の「原法」を見た、故・田原あや先生が同病院の森田療法の指導員として勤務していたこともあり、生活指導から看護まで比較的原法に近い形で行われてきたとのこと。森田先生の「はらはらドキドキ」しながらやるという森田療法の真髓の実践が印象に残りました。田原先生がご逝去された後は集団指導体制に移行し、その過程で浜松医大出身の内山先生が中心となり、病棟規則や看護手順が作成されました。あわせてリーダー制や茶話会など新しい手法や行事の導入、医師・看護師・作業療法士による集団精神療法も行っているとのこと。

ご講演の後には院内の森田正馬記念館(通常は非公開です)を見学いたしました。記念館では森田先生の遺品をはじめ、色紙や日記などを拝見することができました。色紙には、森田療法でよく知られている「事実唯真」「日々是好日」という言葉に「形外」と森田先生の署名が添えられており、肉筆に接することができました。色紙の一部には校正の跡と思われる赤字が入っており、日記には旅先の風景や風俗などのスケッチが記載され、森田先生のお人柄が偲ばれました。

その後は森田療法の病棟をご案内いただきました。開放病棟一階の10床を利用して行われており、ホテルのシングルルームのような臥褥期用の個室、臥褥明けの病室やデイルームがあり、院内には雨天時の工作が可能な作業場が確保されておりました。

また、同院の森田療法では共同作業としての農作業が特徴で、指導員のもと患者全員で行われます。病棟見学の後に農園をご案内いただきました。農園は病院敷地とは別な場所にあって、天気がよければ間近に雄大な富士山を望むことができるとのこと。このような景観に接するだけでも意識が外向化され、治療によい影響を与えるのではないかと感じました。

見学を通じて、三島森田病院の森田療法への取り組みに接することができ、現代の入院森田療法のありかたを見ることができました。最後に今回の訪問に際し、ご多忙な中ご尽力いただきました内山先生、病院事務局の森田様に御礼申し上げます。

秋の心の健康連続講座のご報告

高良興生院・森田療法関連資料保存会 足立 美知子

保存会主催の「秋の心の健康講座」を昨年10月から11月にかけて連続三回シリーズで行いました。今回、森田療法の発展に多大な役割を果たした高良興生院の森田療法をテーマに当時、興生院で治療に当たられた三人の先生方からお話を伺いました。

一回目は「興生院の思い出と体験」の題で近藤喬一先生（錦糸町クボタクリニック）にお話していただきました。豊富な臨床体験にもとづくとても興味深いお話でした。

二回目は「入院森田療法外伝」の題で、元高良興生院院長の阿部亨先生にお話していただきました。高良興生院での森田療法の実際をわかりやすくお話していただきました。

三回目は「高良興生院の継承と進化」の題で市川光洋先生（飯田橋光洋クリニック院長）にお話していただきました。入院森田療法から大学病院の森田療法へ、そして外来森田療法へと進化していく森田療法についてお話していただきました。

全三回シリーズ講座にのべ60名を超えるご参加をいただきました。

三人の先生方からそれぞれの森田療法を語っていただき、参加者からの質疑応答も活発になされ、大変有意義な会になりました。これからも心の健康について皆様と一緒に考えていけたらと思っています。次回のご参加をお待ちしております。

2015年度総会のお知らせ

2015年度の保存会総会は、「高良興生院を次世代に語り継ぐ」というテーマで開催いたします。就労センター「街」研修室にて開催。当日は高良興生院の記念の品々を展示し、当時の雰囲気近づけたいと企画しております。

興生院で森田療法を学んだ先生方に座談会をしていただき、それに元入院生にも加わっていただく予定です。森田療法の継承に大きな役割を果たした高良興生院の歴史を知るかたがたから貴重な体験をお聞きできる機会となると思います。

どなたでもご参加になれますので、ぜひお誘い合わせのうえお申込みください。

日時 2015年5月24日(日)午後を予定しております。

会場 就労センター「街」研修室

森田療法保存会会員のかたには別途お知らせを発送いたします。必ずお申込みのうえご参加ください。